



南房総のハート

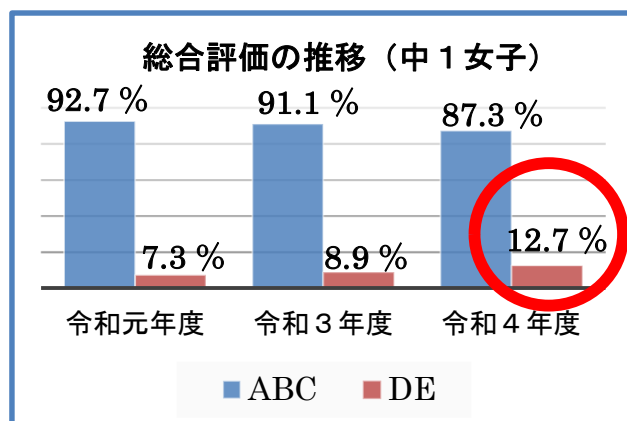
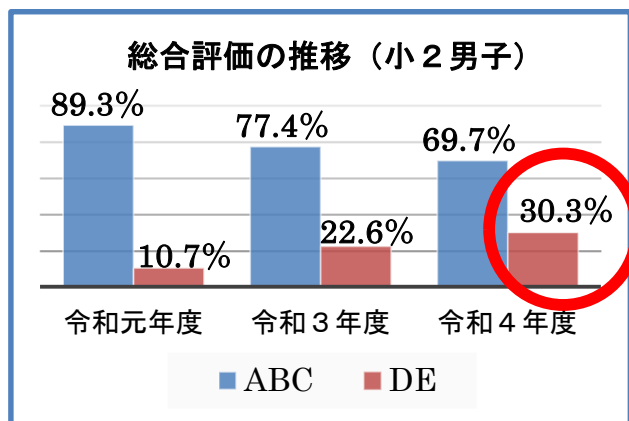
令和5年度校内体力向上推進計画等の作成に向けて ～令和4年度県体力・運動能力調査結果の有効活用を～

令和5年2月に千葉県教育庁教育振興部保健体育課学校体育班から、千葉県体力・運動能力調査（新体力テスト）の結果が公表されました。本号では、その「概要とまとめ」の一部をお知らせします。各学校の令和5年度体力向上推進計画等の作成において、千葉県や管内のデータと自校のデータを照らし合わせて、今後の課題改善に向けた取組を考えていきましょう。

1 管内の課題は「体力の2極化」～総合評価 D・E の児童生徒の割合増加～

下記のグラフは南房総管内の小学校2年生男子と中学校1年生女子の「総合評価」の経年変化（令和元年度・令和3年度・令和4年度※令和2年度は未実施）を示したものです。総合評価【（高）A・B・C・D・E（低）】の推移をみると、年を経るごとに下位層の「D」・「E」となる児童生徒の割合が増えています。コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、日常的に「運動をする子」と「運動をしない子」の二極化が大きく影響していると考えられます。

各学校の体力データの分析にあたっては、体力データとともに総合評価の実態把握と手立ての検討が重要です。児童生徒の体力・運動能力向上に向けて、日々の運動実践につながる体育指導、生活習慣改善につながる指導について、全職員で共通理解を図り、実態に即した指導をお願いします。



2 令和5年度スタートに向けて！～体力・運動能力調査結果の有効活用法～ 【児童生徒への活用】

○自己の測定結果と県や全国の平均値等との比較や、発達段階に応じてTスコア（偏差値）を算出させるなどして、自己の体力・運動能力の現状を知り、今後の体力・運動能力向上のめあてをもたせることができるようにしましょう。

○自己の測定結果から、体育・スポーツへの関心・意欲を高める動機づけとすることができるようにならねばなりません。

【学校としての活用】

○自校の結果を、全国、千葉県、地区などと比較して、児童生徒の個人の体力・運動能力の特徴を把握することで、自校の体力向上に向けた取組の成果と課題を把握・検証しましょう。

○結果を家庭や職員に提供すると同時に、体力向上への理解や協力体制を構築しましょう。

○体力向上計画の作成、体力向上に向けた取組及び体育・健康に関する指導の改善に役立てましょう。

※平均の比較は、単に平均値のみで行うのではなく、標準偏差等の情報も考慮することが必要です。



3 ちばっ子は『全身持久力』が課題！～令和4年度千葉県と令和3年度全国の体力データの比較～

全国平均より上回った項目は「○」、有意差1%以内は「－」、下回った項目は「▼」で示しています。
小・中・高で全国平均値を上回った項目が17.7%で、昨年度（18.8%）より減少しました。

小学校

<小学校>

性別	男子						女子					
学年	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
握力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上体起こし	－	○	○	－	○	○	－	○	－	－	－	－
長座体前屈	○	－	－	－	○	○	－	○	－	○	○	○
反復横とび	▼	－	－	▼	－	－	▼	－	－	▼	－	－
20mシャトルラン	－	－	▼	▼	▼	▼	－	▼	▼	▼	▼	▼
50m走	－	－	－	－	－	○	○	○	－	－	－	－
立ち幅とび	－	－	－	▼	－	○	－	－	－	▼	－	－
ソフトボール投げ	－	○	－	－	－	－	○	○	－	－	－	▼
全国平均より上回っている（○）	2	3	2	1	3	5	3	5	1	2	2	2
有意差なし（－）	5	5	5	4	4	2	4	2	6	3	5	4
全国平均より下回っている（▼）	1	0	1	3	1	1	1	1	1	3	1	2

【全身持久力の向上にむけて】

全身持久力については、全国的にも低下傾向ですが、本県はその全国平均を下回った学年が多数見受けられます。全身持久力は児童生徒が運動に粘り強く取り組む土台となります。年間を通じて有酸素運動を取り入れるなど改善策を講じましょう。

小学校総括表

	男子	女子	計
○	16	15	31
－	25	24	49
▼	7	9	16

※↑数値は○・－・▼の数を表しています。

中学校・高等学校

<中・高等学校>

性別	男子						女子					
校種	中学校			高等学校			中学校			高等学校		
学年	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
握力	－	▼	－	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
上体起こし	▼	▼	－	▼	▼	▼	－	▼	▼	－	▼	▼
長座体前屈	－	○	○	▼	－	－	－	－	○	－	▼	－
反復横とび	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
20mシャトルラン	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
50m走	▼	－	－	▼	▼	－	－	▼	▼	▼	▼	▼
立ち幅とび	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
ハンドボール投げ	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
全国平均より上回っている（○）	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
有意差なし（－）	2	1	3	0	1	2	3	1	0	2	0	1
全国平均より下回っている（▼）	6	6	4	8	7	6	5	7	7	6	8	7

中学校総括表

	男子	女子	計
○	2	1	3
－	6	4	10
▼	16	19	35

高等学校総括表

	男子	女子	計
○	0	0	0
－	3	3	6
▼	21	21	42

全校種総括表

	男子	女子	計
○	18	16	34
－	34	31	65
▼	44	49	93

※↑数値は○・－・▼の数を表しています。

令和4年度千葉県の「項目別」の傾向について

- 長座体前屈は、高校の一部の学年を除いて、小・中・高ほとんどの学年で全国平均を上回ったか有意差のない状況です。
- 握力、上体起こし、50m走は、小学校では全国平均を上回ったか有意差のない状況です。中学校・高校では、全国平均を下回ったか有意差のない状況です。
- 立ち幅跳びとボール投げは、小学校は一部の学年を除き全国平均を上回ったか有意差のない状況ですが、中学校・高校では、全ての学年で全国平均を下回っています。
- 反復横とび、20mシャトルランは、小中高のすべての校種で全国平均を下回ったか有意差のない状況です。

「令和4年度千葉県体力・運動能力調査結果の概要とまとめ」の詳細については、こちらからご確認ください。

